

令和4年度 ニシン漁獲物調査速報(2)：小樽地区

1～3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和5年1月30日に小樽市漁協に水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

1月30日の小樽地区では、「1番」、「2番」、「3番」の3銘柄が水揚げされていました。主体は「1番」でした。

2. 銘柄「1番」の結果：メスの卵巣完熟率は67%

銘柄「1番」の標本40尾中、19尾がオス、21尾がメスでした。尾叉長は30～33cm台、体重330～479gの個体が主体でした。メスの卵巣は14尾(67%)で完熟状態(卵巣の色は透明感ある黄色)で、残り7尾は未熟でした。平均卵巣重量(最小～最大)は、97.4g(68.8～136.8g)でした。オスの精巣は放精前の状態でした。

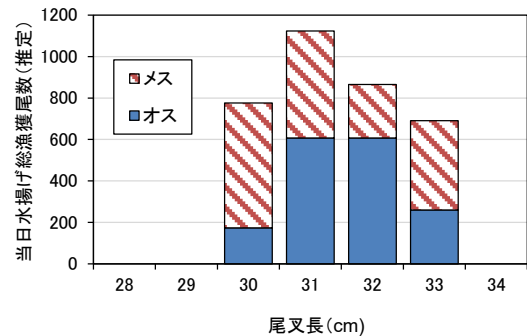


図 銘柄「1番」の尾叉長組成

2. 銘柄「2番」の結果：メスの卵巣完熟率は96%

銘柄「2番」の標本52尾中、29尾がオス、23尾がメスでした。尾叉長は29～30cm台、体重280～379gの個体が主体でした。メスの卵巣は22尾(96%)で完熟状態で、残り1尾は未熟でした。平均卵巣重量(最小～最大)は、78.0g(60.6～100.8g)でした。オスの精巣は放精前の状態でした。

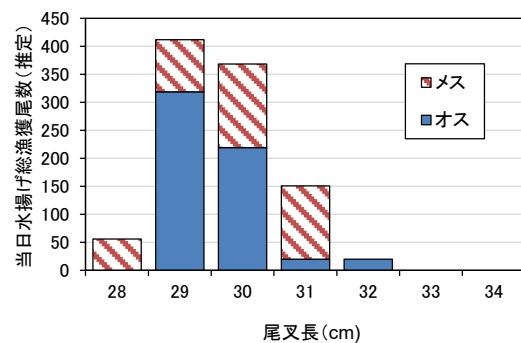


図 銘柄「2番」の尾叉長組成

(つづく)

2. 銘柄「3番」の結果：メスの卵巢完熟率は91%

銘柄「3番」の標本70尾中、47尾がオス、23尾がメスでした。尾叉長は28~30cm台、体重は230~329gの個体が主体でした。メスの卵巢は21尾(91%)で完熟状態で、残り2尾は未熟でした。平均卵巢重量(最小~最大)は、60.8g(41.2~72.2g)でした。オスの精巢は放精前の状態でした。

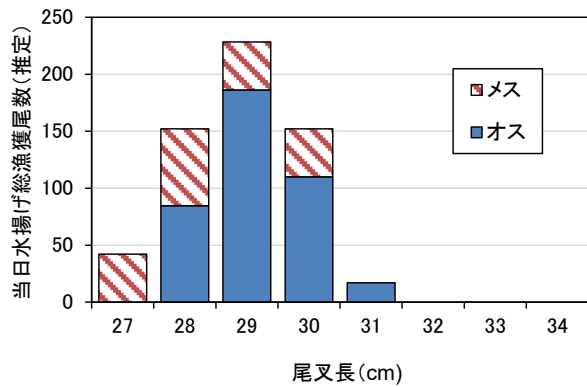


図 銘柄「3番」の尾叉長組成